

福ちゃんの阿武隈高地(野手上山)放射線量測定の日歩き記



発行日:2015.12.14.

発行者:福間幸夫

野手上山・山行概要:飯館村役場前→野手上山→蕨平・風兼→野手神社前→小宮・沼平→飯館村役場前

[山行記録詳細は添付Excel参照](#)

終日無風快晴の野手上山 今回の山旅の最高線量値=2.85 μ Sv/h

野手上山は、フクイチから北北西 NNW32°、直線距離にして31.6 kmにある山で、飯館村の東南に位置する三等三角点(標高 628.6m)のある山である。「うつくしま百名山」の一つにもなっている山である。福ちゃんは、約一年前の2014年12月8日にもこの山に挑戦したが、登山口が分からず撤退した山である。今回は、その Revenge の山旅である。

11月5日(木)5:05 発の、我が酒々井町の始発電車に乗る。陽が短くなったので、この時間、外はまだ暗い。上野駅から東北新幹線に乗る(6:46 発)。雲一つ無い秋晴れの空である。8:45JR 福島駅に着く。そして、JR 福島駅東口 9:10 発の福島交通バスに乗車。10:00 丁度に終点「川俣高校前」到着。昨年と同様、「川俣タクシー」に電話してタクシーに来て貰う。直ぐにタクシーは来てくれる。タクシーには、飯館村役場前まで行って貰う。10:30 飯館村役場前から歩き始める。この役場は、比較的新しい綺麗な建物だが人影は見えなかった。

Wikipediaによれば、この役場には住民課、除染推進課、復興対策課の3部門が活動しているようだ。その他の課(総務課、住民課、健康福祉課、生活支援対策課、教育課)は、福島市飯野町に避難している「飯館村役場飯野出張所」で業務が行われているようである。飯館村の面積は 230 km²で、この面積が 20 の行政区に区別されている。北から大倉、佐須、前田、宮内、深谷、草野、八木沢・芦原、白石、二枚橋・須萱、関根・松塚、伊丹沢、関沢、大久保・外内、上飯樋、飯樋町、小宮、前田・八和木、比曾、長泥、蕨平の 20 行政区である。



昨年撮った「野手上山」登山口への案内板@飯館村小宮行政区



飯館村役場

08.11.2016 10:29

この村役場は、飯館村のほぼ中心の伊丹沢行政区にある。飯館村役場前の県道を挟んで向かい側に「いいたてクリニック」があった。これも比較的新しい綺麗な建物であったが人影は無かった。

今日の目的の野手上山は、小宮行政区と蕨平行政区との境界にある。飯館村の最南端の長泥行政区は2015年10月31日時点では「帰還困難区域」となっている。小宮地区と蕨平地区はこの長泥地区と接した行政区で「帰還準備区域」である。今日の福ちゃんの路程は、伊丹沢地区→関沢地区→小宮地区へと南下するのである。まずは、飯館村役場前の県道を1 kmばかり東進し、それから南下する。約1年前に来たときは、各個人の住宅とその周辺の除染が主であったが、今回は田んぼの除染が主であった。田んぼの除染では、表土何cmまで剥ぎ取っているのだろうか。除染作業の仕様書(Spec.)を見てみたい、と福ち



いいたてクリニック 11.2015 10:42

ちゃんは思った。除染作業の終わった田圃は、学校のグラウンドのような風景であった。



田圃の除染作業中の重機@関沢地区



除染作業の終わった田んぼ 08.11.2018 11:07



フレコンバッグの仮置場@小宮地区 08.11.2018 11:23



除染土運搬のダンプカー 08.11.2018 10:59

1年前のフレコンバッグの仮置場は、1段積みであったが今回は五段まで積み上げられていた。県道は、除染土運搬のダンプカーがひっきりなしに往来している。

各除染作業場には、重機オペレーターや各種作業員が5~10名ばかりの人が働いている。これ等の作業班には現場監督らしき人がいて、アタックザックにカメラを首からぶら下げた福ちゃんに、皆さん丁寧に挨拶(お辞儀)をして呉れる。彼らは、福ちゃんを環境省のお役人と見間違えているのかな？ 見慣れない格好をしてこんな所をうろついているのは、福ちゃんだけである。

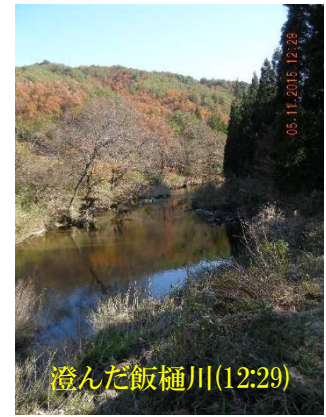


道路沿いのフレコンバッグ(土道沢)



道路沿いのフレコンバッグ(草道沢)

道路沿いに仮置きされたフレコンバッグには、中身が何であるか白ペンで記されている。福ちゃんが推察するに、道路沿い、或は沢沿いの土であったり、草や葉っぱを表示しているのでは、と。多分、草や葉っぱは減容化するために近くの焼却場に運ぶのだろう。昨年来た時には「IHI 環境・日揮・熊谷組 JV」の「減容化施設工事中」の看板を見た。



野手上山への沿道もどこを見ても「除染作業中」の幟旗の風景である。その作業場にはどこにも下記の掲示板が置かれていた。前沢地区中頃では、平均空間線量率 $1.27 \mu\text{Sv/h}$ 、土壌放射能濃度 $63,120 \text{Bq/kg}$ (測定日 2015年11月4日) と記載されている。小宮字沼平では、 $1.42 \mu\text{Sv/h}$ 、 $11.36 \mu\text{Sv/8h}$ (H27年11月) とある。これらは、約1年前 ($1.50 \mu\text{Sv/h}$) と殆ど同じ値である。環境省の josen.env.go.jp/area/details/iitate.html によれば、飯舘村の除染実施対象面積は約 $5,600 \text{ha}$ とある。 $5,600 \text{ha} = 56 \text{km}^2$ であり、飯舘村の全面積 230km^2 の $1/4$ にし

かならない。これで除染されるとはとても思われませんが、環境省の確かな説明を聞きたいところだ。福ちゃんには、無駄な除染作業に思えてならない。これらの除染作業には、数兆円が費やされるとも聞く。これこそ国費の浪費ではないか。

13:34 野手上山山頂の展望台に着く。帰りのバスの時刻が気になり、一度の休みも取らずにここまで3時間歩き通した。山頂には、3体の祠を囲んだ小さな社があった。その社の裏に雑木と雑草に覆われた三等三角点があった。



野手上山山頂は、2011年3月11日から4年8カ月、誰も足を踏み入れていないので、樹木と雑草が生い茂り展望は良くなかった。社の裏手にベンチがあったので、そこで行動食と焼酎(1合)を胃袋に流し込む。このベンチの地表面に福ちゃんの放射線測定器(ロシア製 QUARTA RADEX RD1503)置く。最高値は $2.85 \mu\text{Sv/h}$ を示す。年間になると 25mSv/y になる。驚くべき値である。帰りのバスの時刻が気になるので20分ほどの休憩で直ちに下山する(13:55)。5年近く経ち踏み跡の薄れた下山道であり、また焼酎が効いたのか少し下山ルートを外れてしまう。



野手神神社鳥居



野手神神社の由緒説明板



野手神神社入口の舗装林道

14:30 野手神神社の鳥居のある登山口に下山。(補足:野手上山の麓に**野手神**という地名があった。神社も**野手神神社**となっていた。これはよくあることだが、国土地理院の人が地図作成時に「野手神山」を間違っ「野手上山」と誤記したのではないかと福ちゃんは想像する。)ここで「右、風兼・蕨平」の標識はあったが「左、小宮方面」の表示が無かったので右方向に下ってしまった。30分ばかり行った所で未舗装の細く荒れた林道になってきたので、携帯電話のGPSで現在地を調べると蕨平・風兼に来ていることが判り、引き返すことにする。約1時間のタイムロスである。こんな山奥でも山林の除染作業が行われていたのには、福ちゃん、驚く。16:30頃小宮字沼平地区辺りを通る。秋の日没はつるべ落としだ。暗くなった夜道をただひたすら先を急ぐ。午前中来た県道に戻る。暗くなった田圃で1カ所、大きな照明ライトを搭載した作業車で照明しながら除染作業中の重機が動いていた。今日の予定の作業が終わらなかったためだろう。

夜道を歩くのは、これまでの山行でも何度か経験のある福ちゃんだが、この飯館の夜道は、人家があるのに真っ暗で、不気味であった。約6,000人の人々が住んでいた飯館村は、まさに「灯の消えた村」であった。それでも関沢地区辺りでただ1軒だけ明かりの点いた家があった。その1軒だけがいやにまぶしく映った。野手上山の下山路で少し道を間違えたお蔭で、このような不気味な夜を経験したのは初めてのことだ。

それでも飯館村役場近く(約2km手前)になるところで、草野地区に住むという人(出稼ぎ労働者風?)の車が来て、一人トボトボ夜道を歩く福ちゃんに声を掛けてくれた。福ちゃん「タクシーに飯館村役場まで来て貰うように頼んである」と答える。暗くてよく判らないが、30、40代らしきその人は、それじゃ飯館村役場まで送ってあげますよと、マイカーに乗せてくれた。福ちゃん、降車の際にお礼のつもりで寸志を渡そうとしたが、その人はそれは無用と、受け取らなかった。優しい人情に涙が出そうな福ちゃんでした。17:35 飯館村役場前着。間もなく川俣タクシーが来る。17:40 飯館村役場前発。18:03「川俣高校前」バス停、着。たった3分前にバスが出たばかりであった。18:30「川俣高校前」バス停発、福島交通バスに乗車。ウトウトしていると、バスの運転手さんが「終点ですよ」と言う(19:00)。そこはJR東北本線の松川駅である。福島駅行きのバスとばかり思い込んでいたのが、松川駅行きであった。川俣高校前のバス停の時刻表は、JRバスと福島交通バスが同じ時刻のように書いてあった。いつも利用しているバス乗客なら分かるだろうが、福ちゃんのようなよそ者には解り辛い。間もなく福島行の下り普通電車が来る(19:13)。この松川駅で乗車したの

は、福ちゃんの他には2,3人であった。暗い小さな駅であった。(補足:「松川駅」という名前に微かな思い出がある。それで帰宅後に追憶する。福ちゃんが高校生の頃、兄貴が取っていた月刊誌『文芸春秋』に松本清張の「日本の黒い霧」で松川事件が載っていたことを思い出した。戦後の国鉄三大ミステリー事件「下山事件」、「三鷹事件」とこの「松川事件」である。いずれも労働争議などが絡んだミステリアスな事件である。後に無罪判決。この松川事件では、この松川駅近くに東芝の工場があった。(現在は社名が変わり、東芝100%出資の子会社に)。いつの日にか、この「松川事件の痕跡を訪ねる旅」をやってみたいと思った福ちゃんでした。

19:28 東北本線福島駅着。19:33 東北新幹線福島駅着。駅構内のNewDaysでウイスキー水割り、濁り酒、清酒ワンカップを買い込み、新幹線自由席に座る(19:51)。車内で駅弁を買い、やっと一心地付いた福ちゃんでした。

—完—